



東電に物申す。原発動かす資格なし！

本会議一般質問



3/4 一般質問 遠藤議員

て、何らかの形で改めて評価すべき」と考えている。

技術委員の再任について

遠藤議員(質問)

技術委員会が柏崎刈羽原発の安全対策の確認を進めている中で、委員の年齢などを理由に不再任とすることは、議論の継続性からも到底理解が得られない。不再任の方針は撤回し、再任すべきと考える。

花角知事(回答)

技術委員会は柏崎刈羽原発の安全管理・安全の確認のために、平成15年に設けた委員会であり、各分野の専門家に最新の知見に基づき、客観的かつ科学的に議論していただいている。

花角知事(回答)

野党追及
刈羽原発を稼働させる資格はないと考える。原子力規制委員会に保安規定について審査やり直しを求めるときではないか。

このような事案、事態を生じさせたことは、東京電力の管理能力について、何らかの形で改めて評価すべき」と考えている。

福島原発事故発生を受け、県から臨時的に福島原発事故原因の検証を依頼したことから、検証作業が行われている間は県の要綱にある例

外規定を適用し、委員を再任してきた。昨年10月に福島原発事故原因の検証報告書が取りまとめられたことを受け、県の要綱を踏まえて行いたい。

豪雪時の避難に県民の不安と懸念は増大

遠藤議員(質問)

今冬の豪雪や2月13日の福島県沖地震の体験で、周辺住民の原子力災害に対する不安と懸念は増大している。知事が繰り返し返してきた「3つの検証は」期限を区切らず「徹底的に」との言明を今後も継続すべきと考える。

花角知事(回答)

これまでもお答えした通り、3つの検証は期限を区切ることなく議論を尽くしていただきたいと考えている。

知事選における原子力に関する公約は、引き続き堅持していく。

「原発問題を質す」遠藤議員の質問封じ。発言は自由にできるように！ - 3月連合委員会質疑を傍聴して感じた「県議会の運営ルール」は大いに疑問？ -

東電に「原発動かす資格なし」の質問に

3月18日、連合委員会質疑を傍聴した。東電の柏崎刈羽原発における核物質防護設備の機能の一部喪失が明らかとなり、「東電に原発を動かす資格も能力もない」という深刻な事態発生中の野党議員の質問が続く。

遠藤議員は「委員会の後で発生した問題だから、確認したい。」と断ってこの一番の大問題を質問。

ところが議長は「委員会では乾かなかつた事項のみの質疑となるから、今の発言は削除します」と発言を封じた。

なぜ？なぜ？なぜ？県民の最大関心事について、発言を封じるなどおかしいのではないか？

なぜ？なぜ？なぜ？

なぜ？なぜ？なぜ？

なぜ？なぜ？なぜ？

なぜ？なぜ？なぜ？

なぜ？なぜ？なぜ？

なぜ？なぜ？なぜ？

なぜ？なぜ？なぜ？



3/18 発言を求める遠藤県議

傍聴した私には理解不能な、不合理な「新潟県議会の運営ルール？」だと感じられた。もつと自由に、柔軟に、自由闊達な議論ができる県議会であってほしい。(山田)